

## <GNSS測量について>

近年、建設業においても労働者不足が深刻化し、働き方改革が必要とされています。その対策として、ICT施工の活用が期待されています。その中で現場で採用している技術を1つ紹介します。

工事を行う際には必ず測量が必要となります。今回紹介する技術は、GNSSを活用した測量です。従来は、測量機械を操作する人と高さや位置を確認するためのメジャー等を持つ人の2人が必要でした。GNSS測量は、複数の人工衛星を利用して、位置情報を特定する測量技術です。この機械を使用すれば測量作業を1人で簡単に行うことができ、時間短縮や省力化につながります。



従来の測量（2人）



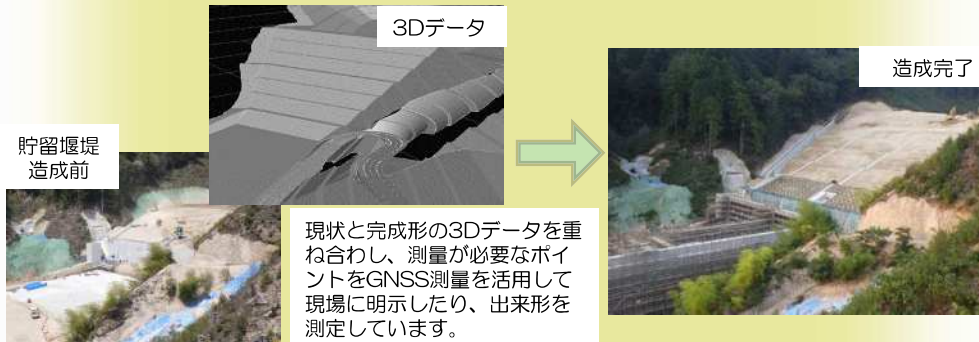
GNSS測量（1人）



【使用する機械】  
この機械を測量するポイントに置いて、測量します。



【システム概要】  
現場に基準局（基準となる点）を設け、複数の人工衛星からの情報をもとに位置や座標、高さや標高などの必要な情報を割り出すことができます。



貯留堰堤  
造成前

3Dデータ

造成完了

現状と完成形の3Dデータを重ね合わせ、測量が必要なポイントをGNSS測量を活用して現場に明示したり、出来形を測定しています。

<県道散水> 今後も地域美化活動に努めてまいります



戸山IC前



77号線交差点

# 恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第09号  
(2020年10月)



2020.10.16撮影 浸出水調整池

### 【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)  
安佐南区沼田町大字阿戸166番地  
TEL(082)-830-4007

発注者：広島市環境局施設部  
恵下埋立地建設事務所  
TEL(082)-241-7836



# <工事進捗状況（令和2年3月～令和2年10月）>

## <現況と今後の予定>

防災調整池の整備完了後、大型の濁水処理設備を設置し、場内の排水処理を円滑に行いながら、本格的な造成工事を行っています。現在は浸出水調整池工、貯留堰堤工、造成工、法面工、雨水集排水工などの工事を進めています。今後も濁水の発生、土砂の流出に注意しながら、工事を進めていきます。

### ① 浸出水調整池工



浸出水調整池の躯体工事を行っています。

### ② 貯留堰堤工



セメント改良土を用いて、貯留堰堤工事を行っています。

### ③ 造成工



第Ⅰ期埋立地の切土・盛土を行っています。



2020年10月15日撮影

### ④ 法面工



造成工事の進捗に合わせて、植生基材吹付を行っています。

### ⑤ 雨水集排水工



南側バイパス水路および北側バイパス水路の設置を引き続き行っています。

### ⑥ 濁水処理設備工



防災調整池南側に濁水処理設備を設置しています。